

メーリングリスト委員会から 第5回 委員長 和田豊郁

以前、「電子メールは35文字程度で意識的に改行しましょう」というお話をしましたが、今回は文章の長さについてのお話です。

お知らせとかお誘いのメールでしたら、いつどこで何を、費用はいくら、幹事は誰それ、付け加えても服装や持ち物についてぐらい。場所の説明を詳しくすれば少し長くなりますが。

ところが、何か提案しようとするれば、その理由や正当性を書きたくなります。詳しく書くほど、長文になります。書いているうちに『ちなみに』で始まる文章を書きたくなります。ここで本論とは趣旨が異なるものを『ちなみに』紹介してしまうと誤解を招く元になります。書き手の気持ちとしては面白い話だから書いてしまうわけですが、読み手にはその面白さが災いして本論よりも印象に残ってしまうのです。

書面だと最初の方を読み返そうと思ったら視線をずらすだけです。元の場所に戻るのも容易です。しかし、電子メールではスクロールしなければなりません。読みかけのところにサッと戻ってくるような機能は用意されていないことが多く、読み返しは億劫になりがちです。

『スピーチは短ければ短いほどいい』と言いますが、電子メールも長くなれば途中の印象深い話だけが読み手の心に残り、結局は気持ちが伝わりません。

たった一度しか電子メールを出せないわけではありませんから、『ちなみに』以下は補足説明であることがはっきり分かるよう、別の電子メールにした方が良いでしょう。

お知らせ

1・第20回全国椿サミット久留米大会、同時開催久留米つばきフェアが予定されています。

3月20日～24日 会場：市内 記：弥永照子

2・「第2回久留米ん町探索隊」

「ふるさと探検隊」と連携し「久留米ん昔話」の本に出てくる場所を訪ねます。歴史あるお寺々を巡ります。

3月14日 遍照院に13時集合 記：平岡清志

3・特別講座 講師 青木正伸氏

3月30日(火) 13時～15時・・・2F教室にて

テーマ「最近の中国事情」 記：一ノ瀬尚文

備考： 問い合わせは、各項の記者へどうぞ

(あとがき) シニアたちは経験を活かしたいと考えている。大学は「ゆにばひろば」へ多くの市民の訪問を待っている。シニア・子ども・学生の世代間交流が始まれば時代は変わる。お互いの知恵が結び合えば町は元気を取り戻すだろう。(式)

講座運営委員会 委員長 中丸哲子

1、講座名 「静止画編集・動画編集講座」

静止画編集や、アプレットやフラッシュで動きのあるスライドに、また今殆どのデジカメで動画が撮れるので、編集して楽しい動画にするやり方を勉強します。なお、フリーソフトを使ったホームページ作成も午前中に行われています

2、実施日時 毎週金曜日。13:00～14:50

3、内容

数枚の静止画をアプレットやフラッシュを使い動きのあるスライドをつくります。

デジカメで撮った動画にタイトルや音楽、フェード、トランジションなどを使い編集し、楽しい動画にします

4、講師 長谷部友成



「VIXでホームページ作成講座」

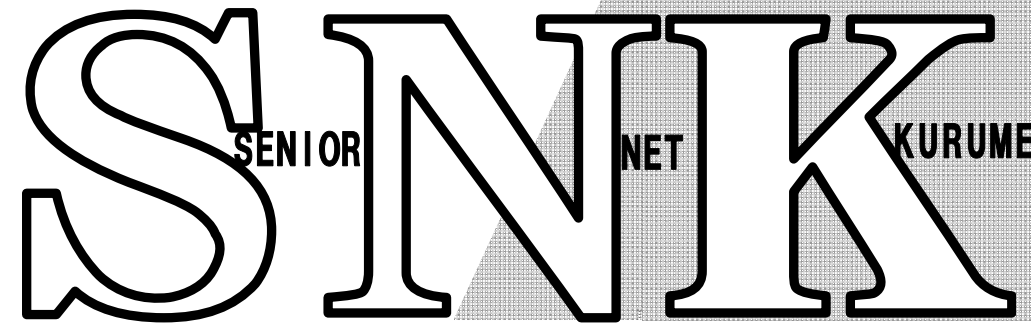
も初心者用として同日午前中に行われています。同講師による講座です。

講師からひとこと・・・デジカメは買ったけど、パソコンへ取り込みが分からない人や、写真加工の基本を学びたい人、丁寧な画像処理を教えます。

NPO法人シニアネット久留米へ 入会を希望される方

NPO法人シニアネット久留米

久留米市荘島町13-1
Tel 0942-46-2277 Fax 0942-46-2595
AM10時～PM4時(土日祝日は休みです)
年会費 3,000円



編集・発行
NPOシニアネット久留米
理事長 今津一躬
久留米市荘島町13-1
TEL 0942-46-2277

より豊かなシニアライフを求めて 副理事長 小島紀夫

「青春とは心の若さである」とは故松下幸之助翁の言葉ですが、私も常日頃から「人間は心の若さを求める旅人でありたい」と願っている者の一人です。シニア世代となった旅人に是非立ち寄って頂きたいところが「シニアネット久留米SNK」にはたくさんあります。SNKの訪問先をいくつか紹介しましょう。

☆にこにこステップ運動

まずは身体の健康が第一です。久留米市と協働で始めて3年になります。

それぞれ個人の体力に合った、無理なく効果的に楽しく継続できる運動として高い評価を得ています。

☆教育支援ボランティア(教育指導助手)

「小学生低学年の落ちこぼれを防ごう」という主旨で活動しています。先生の指導助手として務める利点は、子ども達から明るさや元気を貰い、成長していく姿を見届けられる達成感です。

☆癒しの森公園、荒木農園

日頃は農園活動を行い、収穫祭には身障者や子どもと若いお母さん、大学生達を招待し、交流しながら農園の豊かな自然に遊びます。荒木農園は自然の恵みに感謝し、自然を愛する癒しの場所となっています。

☆竹葉亭、「美味かもん」のたまり場「津福サロン」

季節ごとの美味かもんに舌鼓をうち遊びながら「津福サロン」に手造りの囲炉裏庵「竹葉亭」が完成しました。囲炉裏への郷愁と仲間との語らいが楽しい一時を提供してくれます。遊び心も若さを保つ秘訣です。

紹介する所はたくさんありますが、旅人である皆さんが「いま新たな自分に出会えるところ」それぞれの感性で心の若さのあり場所を探して下さい。下表は2009年の代表的な活動状況です。各サークル、グループの活動はSNKホームページをご覧ください、宝物(答え)が見つかる筈です。

2009年の特記事項

月日	活動内容	備考
2月22日	にこにこステップ運動講演会	久留米大学・筑水会館
3月15日	ふるさと探検で「つばきウォーキング大会」に参加	山本地区
4月12日	「うまかもんば食う会in山本」を開催	弥永邸
4月26日	ちっごアミーゴスが「キッズフェスタ」に出演	石橋文化センター
5月30日	SNK第9期総会&新人歓迎会	ホテルニュープラザ
6月7日	荒木農園 春の収穫祭	久留米大荒木研修所
6月8日	にこにこステップ運動前期基礎コース開始	久留米市内5会場
7月3日	第二期デジタルアーカイブ研究会発足	デジタルアーカイブ研究会
8月4日	「水の祭典・総踊り」に参加	久留米市夏祭り
8月15日	「筑後川流し灯籠」に参加	筑後川瀬の下
10月17日	「うまかもんば食う会」芋煮会	筑後川河川敷
10月18日	久留米大学ゆにば広場に参加	久留米大学/御井
10月23日	「シニアネットフォーラム九州」に出演・参加	熊本市
11月15日	新人歓迎会&会員交流会	ホテルニュープラザ
11月28日	「無量寺コンサート」英語で歌う会、アミーゴスが参加	無量寺
12月1日	「久留米ん町探検隊」昔の話を訪ねた	デジタルアーカイブ研究会

*教育支援ボランティア…… 京町小学校 10回:40名、荘島小学校 8回:16名

シニアネット久留米の活動は、季節性のある定例的なもの以外、思い立った人による「この指とまれ」形式が始まります。趣味を同じくする人たちの、楽しさがメールで伝わることも多い。友を作り、遊び楽しみ、自分のできるボランティアに参加したり、楽しんで記録でもあります。この表はその中のほんの一部です。

全国でも有数の緑花木の生産地です。躑躅のみならず椿についても有数の産地であり、椿苗木せいさんは日本一の実績を誇っています。
 3月20日から24日の大会に、世界28カ国、全国35市町村から客を迎えます。大会のイベントに、地域としてSNKも手伝っています。
 ◎ツバキフェア フォーラム（石橋文化ホール）3/20（土）
 ◎耳納北麓草野つばき祭り〈久留米つばき園・草野町〉3/20～22

特集 地域で活躍するシニアたち

この指とまれ・いま新たな自分に出会うとき

シニアたちは、パソコンを片手に地域とコミュニケーションを考えている。何もパソコンがなければ駄目だとか言うことではないが、インターネットを自由な時代であり、良いこと悪いこと含め世間に印象付けるところまで普及してきた。休耕田が増え農村が疲弊していく、町はシャッター街となり、どうにかせにやならん」と芸能人が首長へ踊り出る時代です。社会全体が地域の浮揚にシニアの力を求めている。

2010 国際ツバキ会議 & 全国椿サミット久留米大会

久留米のツバキについて SNK 会員 藤枝國光

久留米地方ではヤブツバキが原始時代から自生し、古代人の生活文化に関ってきたと思われる。中世からは歴代城主の支援で宗教文化が栄えた歴史があり、社寺や旧家に樹齢200～300年の古木が保存されている。

ヤブツバキが花木として愛育され始めたのは室町時代からで、江戸時代に継承され、園芸品種が輩出した。オランダ商館医シーボルトが接ぎ木苗を1830年に持ち帰り、欧米に普及させた「ドンケラリー」は久留米産「正義」であることが確かめられている。多様な品種を受容する文化が根付いていて、サザンカとの種間雑種であるハルサザンカも他に先駆けて植栽され、古木が保存されている。

久留米でツバキ類の植木・苗木の産地化は昭和40年代からである。恵まれた風土と多様なツバキ類を愛育する地域文化に支えられ、品種を開発しながら生産は急増し、今では全国一の主産地になっている。

藤枝國光氏の略歴（国際ツバキ会議久留米大会及び全国椿サミット久留米大会実行委員会の実行委員、久留米つばき保存会会長）



SNK写真班ギャラリー、1・椿（正義）



2・椿（白玉宝寿）



3・「ゆにばひろば」：久留米大学構内SNKコーナーでは各種の昔遊びを再現、[コマ回し]に興じる女子学生



4・京町小学校3年生の作品、クラス全員の生徒たちによる絵を貼り合わせた作品
教室の絵：教育支援ボランティアチーム



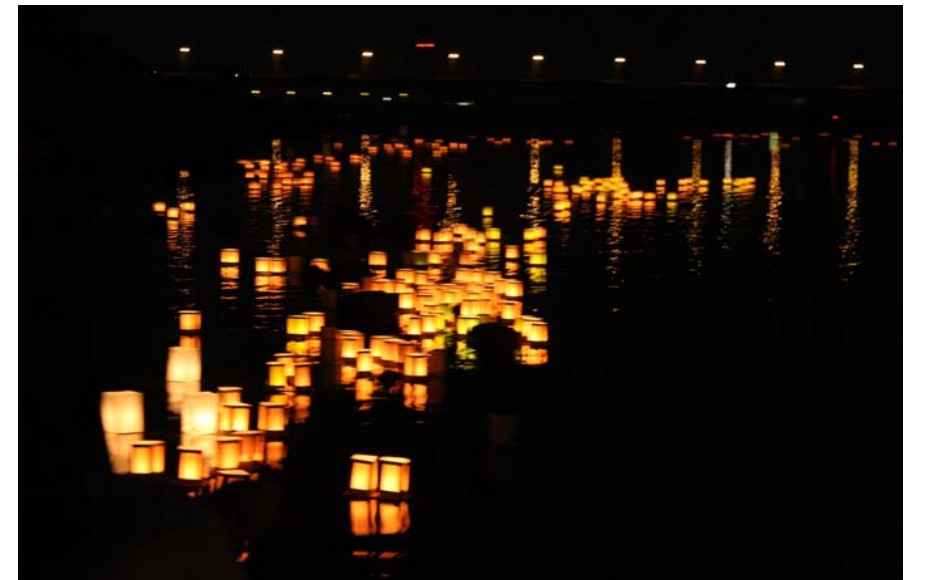
5・荒木農園の作業風景、参加した学生はトラクターを軽々と操作する。
春と秋の収穫祭や花見の季節は「癒しの森公園」として人は集まりひと時を過ごした。土の香りを嗅いで楽しむ、シニア・子どもたち・そして学生たちの交流の輪は広がる。

デジタルアーカイブ 理事 平岡清志

消えゆく昔の話や、世の中から忘れ去られた本、地域に存在する貴重な歴史遺産や郷土資料、文化財などをSNKはデジタル化してきました。その成果は電子図書館15本、筑後・久留米の歴史探訪7本となります。

故郷の大切な文化の電子化保存に取り組む傍ら、「久留米ん昔話」の舞台を訪ね、現状を再確認するとともに、現場で本の話を読みました。

チームは「久留米ん昔話を読む会」の立ち上げ、同じような活動をしている地域の方々と文化の継承を通じて交流を検討しています。また、高良山にまつわる絵本の「こうごう石はみてござる」を久留米弁による方言訳に取り組んでいます。



6・流し燈籠は8月15日の年中行事、シニアが組み立てた灯籠が川を流れる。先祖の霊を川に流す昔からの風習であり、欠かせない。ところが川の環境を美しく保つには、昔通り食べ物を包み流す供養を続けることが出来なくなった。環境を守るため灯籠の材質を紙箱に限定し、翌早朝には回収する。美しい灯籠流しには、SNKのボランティアの努力がある。地域からの協力要請はますます大きくなった。

ツバキ写真ギャラリー〈一番街多目的ギャラリー〉
SNK写真班による撮影「ツバキの写真展」です
写真展は3/16日(午後)～28日(17時まで)

地域のボランティアとして 理事 弥永照子

久留米市から依頼された椿の撮影に1年間の準備がありました。納品された写真の中から、市の許可で期間中写真展を行います。

写真展は、久留米市農政部みどりの里づくり推進課の委託を受けたSNKが椿の写真撮影チーム編成して、椿の花季(2008.12～2009.3)に撮影したもの。チーム(中丸哲子リーダー7名)はその撮影でCD12枚の写真を撮りました。その1部について写真展を行うものです。

大会では海外28カ国から約200名、全国35市・町から約500名のお客様をお迎えます。期間中は、石橋文化センター・久留米つばき園などでイベント各種が開催されます。

地域のボランティアとして「椿ウオーキング」のお世話をし、SNK有志のたくさんの参加で、久留米つばきの魅力を十分に堪能してきました。期間中は市内各所にていろいろのイベントが準備されています。なお、ツバキ写真ギャラリーをお見逃しなく！

ゆにばひろば通信
事務局 岩坂浩子
農園からの生き生きとした
便りを楽しみに拝見して
す。久留米大学の「ゆにば
ろば」は今年4年目。この事
業は、大学を軸に産官学民協
働で健康生きがいのあるま
ちづくりをめざすものです。そ
の第一回に、まちづくりのア
イディアを集めた「私の提言」
で久留米市長賞に輝いたのが
島井氏の提言。これが発端
で農園が誕生。学生教育ゼミ
の一環として荒木研修所を開
放したところ、子どもからシ
ニア、学生、ハンディをもつ
人も含めて、多世代交流が見
事に実現しています。人に地
域に多くの実りをもたらす
ゆにばひろばとして、さら
なる豊穡を期待しています。